

# かながわ歴史のくふ本

高等学校	歴史総合	1~3年生												
<p>「興味類型」に基づいた「問い合わせ」と探究的アプローチを手立てとして 興味と思考力を高める「歴史総合」の授業実践!</p>														
<p>「歴史総合」の授業では、「問い合わせ」が大事…でも…?</p> <p>【問い合わせ】</p> <p>生徒の取り組みが変わってくることがある。</p>														
<p>【そこで、視点を変えて】</p> <p>「歴史総合」に対する興味を高めつつ、思考力も高める「問い合わせ」の可能性を検討した。</p> <p>「興味類型」…「興味」の言葉には多くの意味が含まれることから、先行研究を参考とし、「歴史総合」版の「興味」をカテゴライズした。</p> <p>【「歴史総合」版の「興味類型」の名称と定義】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余談教材型興味</td> <td>歴史上のエピソードに関して新たな事実を知ることができたことにより生じる興味</td> </tr> <tr> <td>教科科目横断型興味</td> <td>別の教科や科目の知識を得ることができたことにより生じる興味</td> </tr> <tr> <td>達成感情型興味</td> <td>歴史総合として学ぶべき事項を習得できしたことにより生じる興味</td> </tr> <tr> <td>現在関連型興味</td> <td>歴史総合で学んだことについて、現実的諸課題と関連付けることができたことにより生じる興味</td> </tr> <tr> <td>展開予測型興味</td> <td>今後の歴史展開がどのようになるか予測を立てることができたことにより生じる興味</td> </tr> </tbody> </table>			名称	定義	余談教材型興味	歴史上のエピソードに関して新たな事実を知ることができたことにより生じる興味	教科科目横断型興味	別の教科や科目の知識を得ることができたことにより生じる興味	達成感情型興味	歴史総合として学ぶべき事項を習得できしたことにより生じる興味	現在関連型興味	歴史総合で学んだことについて、現実的諸課題と関連付けることができたことにより生じる興味	展開予測型興味	今後の歴史展開がどのようになるか予測を立てることができたことにより生じる興味
名称	定義													
余談教材型興味	歴史上のエピソードに関して新たな事実を知ることができたことにより生じる興味													
教科科目横断型興味	別の教科や科目の知識を得ることができたことにより生じる興味													
達成感情型興味	歴史総合として学ぶべき事項を習得できしたことにより生じる興味													
現在関連型興味	歴史総合で学んだことについて、現実的諸課題と関連付けることができたことにより生じる興味													
展開予測型興味	今後の歴史展開がどのようになるか予測を立てることができたことにより生じる興味													

「興味類型」に基づいて提示された「問い合わせ」を生徒自らが追究する。その中で「問い合わせ」に対する自身の考えを表現する等の活動を通じ、探究学習につなげる学習（「探究的アプローチ」という）を組み合わせる。



【生徒の「歴史総合」に対する興味や思考力が高まるのではないか?】

### 授業の紹介 単元名【結び付く世界と日本の開国】



【「興味類型」とそれに基づく「問い合わせ」の設定について】

#### ★単元を貫く問い合わせ

「興味類型」	「問い合わせ」の内容
達成感情型興味	「開国」の決断は良かったのか?

#### ★本時の問い合わせ

「興味類型」	「問い合わせ」の内容
余談教材型興味	【第1時】ペリー流交渉術は、うまくいったのか? 【第2時】井伊直弼は天皇に逆らったかったのか? 【第3時】大君政府は、「この事態に終止符を打つ」ことができたのか?
教科科目横断型興味・展開予測型興味	【第4時】「貿易」により、文化面・経済面でどのような変化が生じたのか?
現在関連型興味	【第5時】コレラや新型コロナウイルスがまん延したのはなぜか?

※達成感情型興味は「学ぶべき事項を習得できたことに基づく興味」として、全ての本時の問い合わせにその要素を盛り込んだ。



★「興味類型」に基づいた「問い合わせ」+「探究的アプローチ」の有効性★  
「歴史総合」に対する「興味」と「思考力」の双方の高まりを一部のクラスによって、確認することができた。

詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員、研究報告(R6)を御覧下さい